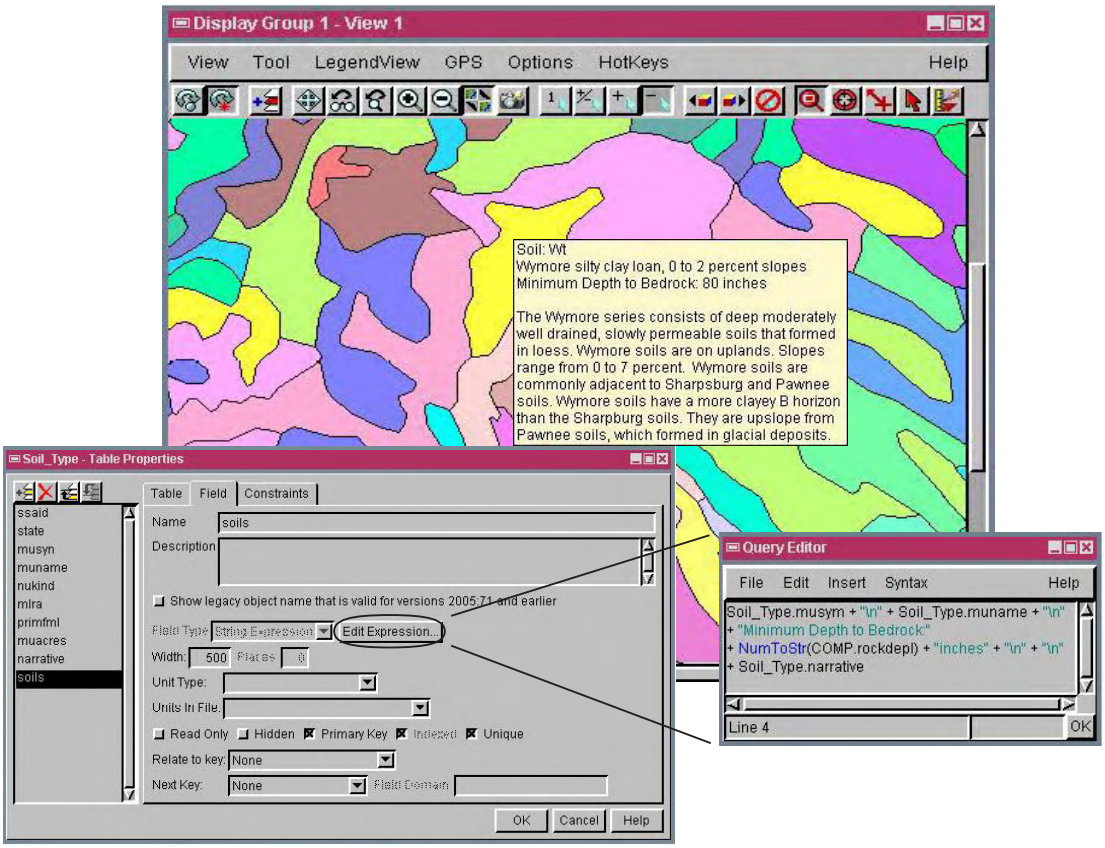
マルチライン・データティップ

ご存知でしたか？... 文字列表示を使うことで、複数ラインのデータティップを作成することができます。

マルチライン・データティップを使うと...

- ●それぞれの地物に対して、複数行にわたる属性を表示させることができます。
- ●複数のレイヤにある属性にアクセスすることができます。
- ●各属性の前後にプレフィックス（前）とサフィックス（後）を付けることができます。
- ●メモフィールドにある長い説明情報も表示することができます。



マルチライン・データティップの使い方

- ●ベクタオブジェクト中のポリゴンのように、適切なオブジェクト要素にアタッチしているデータベーステーブルの中に、文字列表現式（String Expression）のフィールドを作成します。
- ●“＋”演算式を使って入力項目を分け、文字列表現を作っていきます。
- ●テーブル．フィールドの形で、目的の属性を含めます。
- ●各属性の前後に置くテキストを引用符で囲んで追加します。
- ●データティップのテキストの中で改行するには、“¥n”を使います。

さらに知りたいことがあれば...

以下の冊子をご覧下さい：

地理属性の管理（Managing Geoattributes）

MicroImages
microimages.com